

住まいと暮らしの情報紙

第1179号

2008年(平成20年)

6/27

7/3

週刊

タイムス住宅新聞

**軍用地買取り
住宅地ます!!**

お気軽にご相談下さい
Tel. (098) 859-7255

ダイキョウ 沖縄県知事(1)3571号 沖縄県那覇市小字912-1

(有)大鏡プロデュース

大鏡プロ 検索 詳しくはHPへ



撮影/高野生優・フォトアートたかの

庭やテラス上の家庭菜園など、緑豊かな建物。1階は家族で営む喫茶店。2階に赤嶺さん世帯、3階に娘世帯が暮らす

お住まい拝見

赤嶺さん宅

豊見城市の真玉橋郵便局隣りに、喫茶店をもつ二世帯住宅を建てた赤嶺光枝さん(67)。門から一歩足を踏み入れると、花や木が出迎え、訪れる人の目を楽しませる。住まいには、家族や友人、喫茶店の常連客に趣味仲間などさまざまな人が集い、くつろぐ。

職住近接の二世帯住宅

CONTENTS

- 01 お住まい拝見
- 04 住まいQ&A
- 05 ニュース
コラム・日々是住雑感
- 07 カラーサブリメント
- 09 うまんちゅトーク
- 11 ひと
コラム・フォトCafe
- 13 新しい“住み方のカタチ”
多様性のある家造りを
- 14 建築士の日特集
幅広い提案力で要望実現
- 23 不動産スクランブル
- 24 週末メンテ
- 25 見てある記
- 27 実りある暮らし



発行 **株タイムス住宅新聞社** 毎週金曜日発行
(一部地域で木曜日発行)

〒904-2234 沖縄県うるま市州崎7-14 ☎098-934-1122(代)
☎098-934-2287(編集部) FAX098-934-6677
http://www.jpss.co.jp E-mail jyuutaku@jpss.co.jp

対面式キッチンがオープンな2階のLDK。後ろの造り付けの収納や奥の家事室に日用品を納め、すっきりと住みこなしている



お住まい拝見

(赤嶺さん宅)

空・緑眺め、集い楽しく



庭を眺めつつゆったりとくつろげる喫茶店のテラス。深い庇が陰を作り、涼風が抜ける快適な空間となっている



店舗からの眺め。庭に面して大きく開いているので、店内に居ながらにして外との一体感が楽しめる(写真提供:チームドリーム)

敷地前の道路の拡張に伴い、住宅を建て替えることになった赤嶺さん。いざ家造りとなったときに何から進めていいのか分からず、家造りのカルチャースクールを受講し、イメージを膨らませました」と話す。

その後、インターネットで情報を収集しながら、スクールの講師が設計した住宅を見学。雰囲気が入り、設計を依頼した。娘家族と互いに心地良く暮らせる2世帯住宅を要望しました。また、十数年前から営んでいた喫茶店のほか、念願の手芸教室やギャラリー、趣味の庭造りや山野草を楽しめるスペースもお願いしました。1階に喫茶店や手芸教室、ギャラリーなどの店舗を配置、2階に自身の住居3階に娘世帯の住まいを計画。数十回話し合いを重ね、詳細を詰めていった。

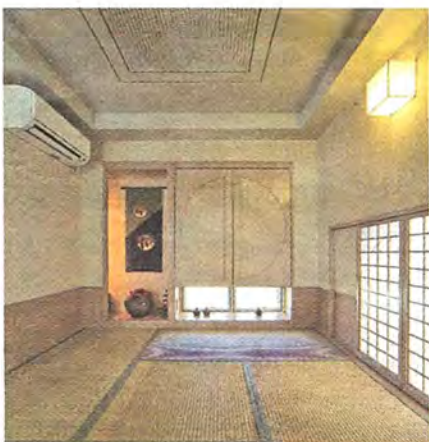
現在、1日の大半を過ごすのは、家族で営む喫茶店。店内

からはテラス越しに、緑いっぱい庭が眺められる。訪れた人たちはテラスや庭に出たり、店内で過ごしたりと思いの場所でのんびり過ごす。園芸仲間が「キレイに咲いたよ」と鉢植えを持ち寄ることもしばしば。「毎日誰かが来て、一緒に庭の手入れをしています。緑を眺めながらだと話が尽きなくて」と笑う。

2階の自宅は、機能性に加わりコンパクトに。「完成前はちよつと狭いかなと思いましたが、丁度良い広さ。水回りが行き来しやすく、家事がはかどるのもうれしい。」

一方、娘さんも「3階は中央にパティオがあつて明るく、キッチンからも子どもの様子が分かるので安心。風通しも良く、庭や空の眺めも気持ちいい」と満足げ。

「働き、集い、くつろぐ」緑ある住まいで、心地良い時間を過ごしている。



3階、4畳半の和室。限られたスペースも視線が抜ける間口を設けていて、狭さを感じさせない



2階の仏壇のある和室。行事の際に使うことも多く、広さにこだわった。ふすまを開けると、隣のLDKと一体的に広々と使える

データ

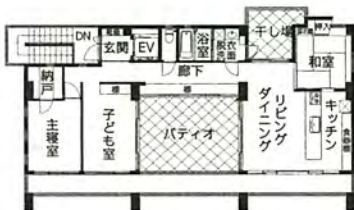
家族構成: 母・息子十娘世帯夫婦・孫
 敷地面積: 629.24㎡(約190坪)
 地階床面積: 210.89㎡(約45坪)
 1階床面積: 148.70㎡(約45坪)
 2階床面積: 109.68㎡(約33坪)
 3階床面積: 110.56㎡(約34坪)
 建ぺい率: 35.87%(許容60%)
 容積率: 73.72%(許容200%)
 用途地域: 第一種住居地域・第一種中高層住居地域

構造: 鉄筋コンクリートラーメン構造
 設計(意匠): チームドリーム 福村俊治 具志好規
 設計(構造): 西建築設計事務所 西伸介
 設計(設備): cai設備 宮良洋三
 施工(建築): 創建設 浜元宏
 (電気): 玉商 宮里哲哉
 (水道): ライフ工業 我喜屋奨

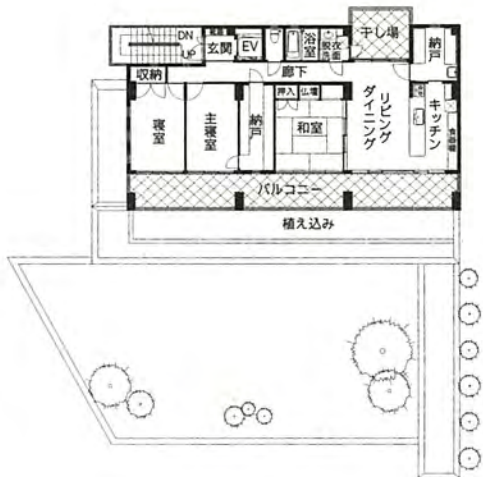
平面図



3階



2階



1階



半地下



3階、光がさんさんと降り注ぐパティオを挟み、リビングから子ども室まで開放的につながる。家事をしながら子どもの様子も分かるので安心



快適 裏方さん

従来の激しい通りに面した敷地に、緑豊かな職住近接の2世帯住宅を実現した赤嶺さん。設計者の福村俊治さんにポイントを聞いた。

建て替えにあたり、赤嶺さん一家が希望したのは、それぞれが使いやすい住宅で、家族が協力し合える職住近接の暮らし。設計では住宅と店舗の機能性などの要望を踏まえた上で、庭との一体感をもたらすテラスやパティオなど半戶外空間を生かすこと。つまり、青空や緑あふれる庭やベランダを眺め、自然の光や風を感じながら集い、くつろげる空間づくりを目指しました。

敷地は、従来の激しい前面道路に面していたことから、建物は駐車スペースと庭を介

半戶外生かし、「集」の住まいへ

し道路からできるだけ後退させて配置。道路との距離を取ることで通りの喧騒や視線を切り離すよう配慮しました。さらに、道路レベルより約3・5m低い敷地の裏側には、高低差を利用してピロティ駐車場を設け、3階まで行き来できるホームエレベーターも設置。お客を迎えるアプローチは、列柱の並ぶ幅広い半戶外のテラスが室内と戸外を結ぶ心地よい、沖繩らしい空間をつくった。

店内は庭側に面してテラスを設けて大きく開き、内外が一体的に楽しめる造りに。2階と3階の住居は、必要な居室をコンパクトにまとめ、動きやすく、緑豊かな庭を見下ろすようになっていく。

街中で、高齢になっても趣味や得意分野を生かして働き続けることができる今回のような職住近接の家は、地域や人を結び、安心して暮らせる住環境につながると思います。

家の中心で空とつながる 開放感たっぷりパティオ

3階、明るく風が行きわたる子ども室。外と一体的につながり、子どもも愛犬もののびのび



リビングとプライベートスペースを結ぶ廊下もパティオから光が注ぎ明るく見渡しがよい

